



2014・1
27号

ナンテン

(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

シンガポール共和国 ガーデン・シティー政策

第3回 国立シンガポール植物園と日本人

(株)ウイン代表取締役 ランドスケープ・アーキテクト 稲田 純一
(元シンガポール国立公園庁計画開発部長)

今から154年前の1859年にシンガポール植物園のルーツは遡ります。1868年の明治維新より9年も前に植物園は開園されました。

長い歴史の中で、第二次世界大戦時のシンガポール植物園は危急存亡の状態にあったそうです。それを救ったのがその当時の日本人研究者の一人であった郡場寛氏(一時期シンガポール植物園の園長)であると言われています。彼は、植物園の資料散逸を防ぎ、その保全に努めました。また英国人植物学者E.J.Hコーナー博士とのエピソードには、心を打たれます。このことは、中公新書『思い出の昭南博物館』に詳しく書かれています。



シンガポール植物園
一番初めに設計を担当した“シンガポールの女性とブランコ”の彫刻庭園
Visions of Delight より

さて、1983年に私がシンガポール共和国政府のランドスケープの専門家として働き始めた当時、植物園は旧態依然とした、お世辞にも人気がある植物園ではありませんでした。

1989年に植物園の開園130周年記念セミナーが開催され、植物園の全体再開発計画が発表されました。最初の再開発全体計画は、シアトルのJONES&JONESが関わり、それを受けて私は計画開発部長として計画を推進し、結果として年間400万人も訪れる人気の植物園となったのです。植物園もその時代のニーズや社会状況に敏感に呼応していくべきだと思います。

そして、1994年私が大阪に戻った後現在に至るまで、私の設計事務所の所員共々シンガポール植物園の再開発計画・設計・現場監理に、継続して関わっています。



シンガポール植物園 メインゲート付近

また、1980年には兵庫県立フラワーセンターがシンガポール植物園と姉妹提携を結びました。その後、貝原元知事がシンガポール植物園を訪れ、園に60万点も保存されている腊葉標本(押し花標本)や貴重な古書の専門書を熱心にご覧になられていたのを今でも鮮明に覚えています。

2012年10月14日魅力アップに向け私も関わってリニューアルオープンした兵庫県立フラワーセンターの中に、姉妹提携を記念するシンガポールコーナーも蘇らせましたので、是非足を運んで頂きたいと思います。



兵庫県立フラワーセンター 中央花壇 2012年4月21日リニューアルオープン時

シンガポール植物園の歴史は、私を含め日本人との関わりがあり、兵庫県とも深い関係を持っています。

公益財団法人兵庫県園芸・公園協会設立40周年記念

「2013 ひょうごまちなみガーデンショー in 明石」

開催報告



明石公園を中心に明石のまちなみを花と緑で彩るこのガーデンショーは、9月28日～10月6日の9日間にわたって開催されました。会期中は天候にも恵まれ、来場者は前年を上回る13万7千人にのぼりました。ガーデンコンペを始め、県内農業系高校全11校の出展によるアグリハイスクールガーデン、県民参加型の夢プラン、人気の花と緑の体験教室、大道芸など、今回の様子をピックアップしてご紹介します。

ガーデンコンペ各部門兵庫県知事賞のご紹介



今回の応募作品数は、前年を上回る314点となりました。出展作品は力作が多く、レベルの高さを感じさせられました。その中で、コンペの各部門最高位となる兵庫県知事賞を見事受賞された作品をご紹介します。(敬称略)

ガーデン部門

コミュニティガーデン



緑のしずく(加古川市)

ハンギングバスケット・壁掛け



宿南 安枝(養父市)

額縁型プランター



田中 孝雄(三木市)

寄せ植え



松井 好子(小野市)



花いかだ



会場風景

花壇写真部門

家庭緑化



寺尾 桂子(朝来市)

学園緑化



鈴原小学校(伊丹市)

コミュニティ・職域緑化



キッピーグリーンクラブ(三田市)

皆さんに楽しんでいただいた作品やイベントの数々

ガーデンショーをより広範囲に楽しんでいただくために、サテライト会場も明石市立花と緑の学習園、天文科学館～中崎遊園地の南北通りに設けました。

来場者の方々が手軽に園芸体験できる花と緑の体験教室が8回、また県民の提案による夢プランが4回実施され、多くの参加者で賑わいました。ご家族連れにも楽しんでいただける大道芸やはばタン、時のわらしも登場し、子どもたちが大喜びでした。また幼稚園児の花の絵も展示されました。

なお、今回皆さんにご協力いただきましたアンケートには、356人の方々から回答をいただきました。皆さんのご意見は、今後の開催の参考にさせていただきたいと思っております。また多数のボランティアの方々にもご活躍いただきました。ありがとうございました。



明石市立花と緑の学習園



幼稚園児の花の絵の展示

協会設立40周年記念ガーデン



デモンストレーションガーデン



アグリハイスクールガーデン



花と緑の体験教室



「ワンコインの
フラワーアレンジメント」

夢プラン



「明石公園で秋の七草さがし」

大道芸



ご来場ありがとうございました！



花と緑のまちづくりフォーラム



講師:藤本 真里氏の基調講演
「花と緑のまちづくりに果たす公園の役割」

花緑団体紹介

第23回 全国花のまちづくりコンクール 国土交通大臣賞受賞

昆陽南公園苗圃を活用する会 (伊丹市)



代表 辻井 玲子

発足の経緯

楽しく！をモットーに「花と緑の地域づくり」を目指すボランティアとして平成17年11月に会を立ち上げました。

活動内容

昆陽南公園の小さなスペースの圃場で次のような活動をしています。

- ① 年2～3回の花苗の播種・育苗(昨年度15,000ポット生産)
- ② 昆陽南公園の花壇など約500㎡の植栽帯の維持管理
- ③ 学校園や病院、コミュニティ花壇など公共施設(33か所)へ年2回の花苗供給
- ④ 学校園などの花壇づくりの指導・支援

会員34名が3班編成で毎日維持管理を行っているほか、親睦を深めるため研修会を実施し、技術の研鑽にも努めています。



活動の目標と成果

訪れる人が四季折々に咲く花を通じて色彩や自然を感じ、心が癒されるような空間づくりに取り組んでいます。

花壇は、低木や宿根草をうまく活用することで立体的に魅せるだけでなく、ローメンテナンス・ローコストの花壇づくりを心がけています。

また、環境に優しい土づくりとして花の残渣や落ち葉を堆肥化して花壇に活用しています。供給先にも堆肥づくりを推進しています。

さらに、近隣の学校園との取り組みで、子どもたちの情操教育としての園芸指導を通じて多くの人とのコミュニケーションが図れたことは、私たちが地域に根ざした活動を頑張ってきたことの成果だと喜んでいます。

地域へ広げる花と緑のまちづくりでは「県民まちなみ緑化事業」を活用し、PTCA*活動の一環として市内の学校園で多くの子供たちが作業に参加したことが印象的でした。



関わった人たちの環境に対する気持ちが変わって



きて、私たちもお手伝いした甲斐がありました。

PTCA*:
PTAにコミュニティ(地域)
の頭文字Cを入れた組織

国土交通大臣賞の受賞

今年、第23回全国花のまちづくりコンクールにおいて、花のまちづくり大賞(国土交通大臣賞)を受賞しました。関係者のみなさまのお陰だと感謝しています。

表彰式は学士会館(東京都千代田区)で行われました。事例発表では、パワーポイントで活動を紹介しました。交流会では、全国から集まったたくさんの方々との情報交換ができ、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

審査員からは「高い栽培技術と指導力を持ち、行政の施策と連携した花のまちづくりは、市民活動のお手本といえる」との高い評価をいただきました。

受賞を機に、これからも昆陽南公園から花と緑のまちづくりを広げ、花と緑を愛する心を未来へつなげていけるようみんなで力を合わせて頑張っていきたいと思えます。



グリーンメッセージ

全国花のまちづくりコンクールと兵庫県

花と緑のまちづくりセンター長

石原 憲一郎

(兵庫県参与・淡路花博2015花みどりフェア
企画委員会委員兼花緑部会チーフアドバイザー)

今から23年前大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」(「花の万博」)は、「花と緑と人間生活のかかわりをとらえ、21世紀に向けて潤いのある豊かな社会の創造をめざす」をテーマに開催されました。特別博覧会史上最多となる約2,313万人の来場者を迎え、これを機に、我が国の花と緑のまちづくりが急速に進んだことは記憶に新しいところです。この博覧会で掲げた理念を継承していく事業の一つとして、農林水産省と国土交通省が共同で提唱した全国花のまちづくりコンクールが今年度で23回目を迎えました。筆者は、平成3年、建設省(現国土交通省)在職中に、このコンクールの制度設計に関わった者の一人として、感慨深いものがあります。

このコンクールでは、毎回兵庫県から多数の応募があり、入賞者数も多いのですが、今年度、全国応募者数は2,187件を数え、入賞者数92件で、そのうち兵庫県は16件と入賞者数全体の約2割を占めました。特に今年度は、コンクールの最高賞である「花のまちづくり大賞」団体部門の国土交通大臣賞に伊丹市「昆陽南公園苗圃を活用する会(代表:辻井玲子氏)」が選出されました。

当団体は、公園内の苗圃を活用し、公園の花壇等の

維持管理だけでなく、育成した花苗約15,000ポットを学校園など公共施設33か所に提供するなど、伊丹市全域に花のまちづくりを広げている活動が、高く評価されたようです。

コンクール審査委員長の比嘉照夫氏は、「花のまちづくりが地域社会に受け入れられ、地域の社会的DNAとして生活に浸透・定着し、様々な花の社会性を派生しているか着目し審査した結果が受賞に結びついている」と講評しています。

兵庫県の花と緑のまちづくり活動は、オープンガーデン活動、学校緑花活動、自治会や老人会・婦人会等による地域緑花活動など多岐に渡っています。これは、県民の美しい県土づくりや地域づくりに対する強い思いと積極的な行動が最大の要因ですが、一方、県民緑税に

よる県民まちなみ緑化制度、緑のパトロールなどその活動を支える諸制度も全国的に見ても非常に充実しています。いわば、ソフトウェア、ハードウェア、そしてヒューマンウェアがバランスよく整っていることの証と自負しているところです。

今後とも、私たちの「ふるさと」である兵庫県の地域や人をより輝かせるため、花と緑のまちづくりを皆さんとともに進めていきましょう。



第23回 全国花のまちづくりコンクール表彰式

「全国花のまちづくりコンクール」審査基準

詳しくは「全国花のまちづくりコンクール」のHPへ

快適な生活環境づくり	地域の緑を大切に育みながら、街並みの景観を損ねる散乱ごみや屋外広告などを積極的に整理するように心がけて活動し、潤いと豊かさを感じられる快適な生活環境づくりや風景づくりがされているか。
エコロジー	環境にできるだけ負荷をかけないような活動や身近な自然を大切にした取り組みが行われているか。
花による表現	まちらしさ(地域性)の演出に花がうまくいかされているか。また、地域の歴史的・文化的資産が花のまちづくりにいかされているか。
花のデザイン	花や緑が周辺の風景や街並み、建物と調和し、花壇の花の配置や色使い、季節の演出などがセンスよくデザインされているか。
栽培状況	花殻や生ごみなどを土づくりにリサイクルしたり、農薬などをできるだけ使わないようにしたりして、環境に配慮した取り組みがされているか。また、花の生育特性を考慮して草花を植え、花や緑が健全に生育しているか。
活動状況	花のまちづくりにおいて、住民(企業を含む)と行政のパートナーシップ、住民同士の連携などが図られ、公共性の高い場所や地域に向けた場所での活動、オープンガーデンなどが実施され、それらが長続きし、発展するよう取り組まれているか。
地域の活性化	活動によって地域の振興や活性化などにつながる波及効果が見られたか。

淡路花博2015
花みどりフェア
**県民提案事業を
募集します!!**



淡路花博15周年記念事業実行委員会では、県民の皆様の「淡路花博2015花みどりフェア」への参加を促進し、淡路島の地域振興に役立てるため、イベントの提案を募集し、開催等に要する経費の助成を行います。

県民の皆さんのすばらしいアイデアで花みどりフェアを盛り上げる企画を提案してください!

淡路花博2015花みどりフェア実施概要

- ◆と き：平成27年3月21日(土)～5月31日(日)
- ◆ところ：メイン会場：淡路夢舞台、国営明石海峡公園(淡路市)
サブメイン会場：洲本市中心市街地エリア(洲本市)
淡路ファームパーク イングランドの丘エリア(南あわじ市)
サテライト会場：島内各地の観光施設等

対象事業

展示、行催事分野で花みどりフェアのテーマ(“花と緑”“エネルギーと暮らし”“農と食”“交流”)に沿い、花みどりフェアと一体的に実施され、島外からの誘客を図る次に掲げる事業を対象とします。なお、営利目的や政治・宗教的な普及活動等は除きます。ただし、1団体につき1事業とします。

応募資格

兵庫県内に居住若しくは活動の拠点を置き、団体規約等を有する団体等が対象となります。

実施期間

原則として、花みどりフェア開催期間(平成27年3月21日～平成27年5月31日)とします。

実施場所

原則として、メイン会場、サブメイン及びサテライト会場及びその他の淡路島内とします。

応募方法

所定の申請書に必要事項を記入のうえ郵送でお申し込みください。

応募期間

平成25年11月1日(金)～平成26年1月31日(金)とします。

補助金額

原則として、1事業あたり100万円を限度に補助します。

※詳細はホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/ks24/hanamidori.html>

花みどりフェア2015

検索

お問い合わせ先

神戸

兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課 担当：松田、花房
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL：078-362-9309 FAX：078-362-4454

淡路

<相談窓口>
兵庫県淡路県民局総務企画室企画防災課 担当：政次
〒656-0021 淡路市塩屋2-4-5 TEL：0799-26-2009 FAX：0799-23-1250
<受付窓口>
(一財)淡路島くにうみ協会記念事業課 担当：大歳、宇城
〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL：0799-24-2001 FAX：0799-25-2521

ほっと

●●● 相談員ニュース ●●●

緑の相談員 小椋 美由紀

『千両みかん』

新年ということで、笑う門には福来る!・・・落語からスタートしたいと思います。

『千両みかん』というめでたい名前のミカンは、残念ながら品種名ではありません。落語の題名で、天満の赤物問屋（野菜は青物、果物は赤物といったそうです。）の心意気がすばらしい私の大好きな落語のひとつです。

落語には、季節感を演出する名脇役として様々な植物が登場します。「あのふっくらとした・・・」「色艶のいい・・・」～『千両みかん』では、ミカンが大きな力ぎをにぎります・・・。



江戸時代は、ミカンは温暖な地域の特産物でしたが、現在では品種改良などによって栽培可能地域が広がり、家庭果樹としても人気です。今回は、庭植え、鉢植えで栽培しやすいウンシュウミカンを取り上げたいと思います。

●**植え付け** 植え付けは3月下旬～4月上旬の寒さが去った頃に行います。

庭植への植え付けは、日当たりがよく、排水が良い所を選びます。一度植えつくと容易に移植できないので植え付け場所は十分に検討しましょう。植え穴は大きくとり、苦土石灰、完熟堆肥や腐葉土を入れ土とよく混ぜます。接ぎ木部分が地上に出るように、やや高植えにします。寒さ・乾燥防止で、株元に敷き藁をしてもよいでしょう。

鉢植えの場合の用土は、市販の草花用の培養土に、赤玉土を40%ほど混ぜたものを用います。その際に

苦土石灰を軽く一握り加えるようにします。植え付け後は庭植え・鉢植え共に、支柱をしましょう。

●**肥料** 肥料は花が咲く前の春肥（3月）、実が付く頃の夏肥（6月）に化成肥料、収穫後の秋肥（11月）に油かすなどの有機質肥料を施します。

●**水やり** 乾いたら、たっぷり水をあたえます、特に鉢植えは鉢の大きさによって回数と量が異なります。家を留守にする場合は、日陰に置いたり、土の中に鉢を埋めたり、腰水などの対策をしましょう。春から夏にかけての成長期の水切れは落葉や落果の原因になります。

●**剪定・病害虫の駆除** 年月が経つと枝葉が密になるので、適切な剪定を行い、樹冠内部への採光、通風をはかることが大切です。適期は3月。病害虫の防除にもつながります。カイガラムシ類・ハダニ類の発生は、葉裏や株の上部から水をかけることで被害が少なくなります。適応・適期の薬剤散布も必要ですが、まずは樹勢をつけることが大切です。

実は『千両みかん』の舞台は夏です、土用の最中のミカンが千両の価値がある?!というストーリーです。季節外れのミカンに千両を支払うのもいいですが、食べごろを見極めて収穫した、香り高いフレッシュなミカンも千両の価値がありそうです・・・。



千両みかん



園芸相談コーナー

10:00～12:00

13:00～16:00

火曜日を除く毎日

Tel 078(918)2405

Fax 078(919)5186

写真や実物をご持参いただきますと、
お話ししやすくなります。

県立公園1月イベントの紹介

詳細は各公園にお問い合わせになるか、HPをご覧ください。

公園名	イベント名	日時	イベント内容
フラワーセンター TEL 0790-47-1182	お正月特別開園 	1/2 (木) ~ 4 (土) 9:00 ~ 16:00 (入園は 15:00 まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・花クイズウォーキングラリー ・お楽しみ♪抽選会 ・おもしろ自転車に初乗り! ・お買い得!花の福箱 ・はばタンと記念撮影 ・ふわふわ遊具であそぼう!
国営明石海峡公園 TEL 0799-72-2000	あわジオフェスティバル 2013 	12/21 (土) ~ 1/13 (月・祝) 淡路島 国営明石海峡公園 ビジター棟	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜等の化石、化石レプリカの展示 ・恐竜のダンボールクラフト ・恐竜のどんぐりクラフト ・アンモナイト化石のレプリカづくり (1/5、12) ・専門家の先生にお話を聞こう (1/5、12)
舞子公園 TEL 078-785-5090	舞子海上プロムナード 正月営業 	1/1 (水) 6:30 ~ 12:00 1/2 (木)、3 (金) 10:00 ~ 15:00	元旦に展望ラウンジより初日の出を見ることが出来ます。
移情閣・孫文記念館	旧木下家住宅青松庵 抹茶体験	1/8 (水) 10:00 ~ 15:00	松の見える茶室で抹茶をいただきますか? 参加費 500 円 (入館料別) 無料ミニコンサート同時開催 11:00 ~ 11:30
赤穂海浜公園 TEL 0791-45-0800	お正月わくわくフェスタ	1/2 (木)、3 (金)	餅まき、菓子まき、福笑い ぜんざいの販売、 甘酒の無料振る舞い 
丹波並木道中央公園 TEL 079-594-0990	Let's♪ ノルディック ウォーキング 	1/19 (日) 14:00 ~ 16:00	2本のポールを使って歩きます。動きやすい服装でお越しください。 費用: 参加費 1,000 円 + ポールレンタル代 500 円 締切: 2 日前まで (ポール持参の場合は当日受付可能)
ローラー滑り台	花と緑の教室 「早春の草花の 寄せ植えと管理法」	1/31 (金) 13:30 ~ 15:00 管理棟 会議室	季節ごとに特色のあるテーマを設定し、実習形式により、楽しみながら技術、知識の習得が行える。 費用: 2,200 円 定員: 25 人 締切: 8 日前の木曜日

花と緑のまちづくりセンターだより 27号

- 平成26年1月1日発行 (年4回発行)
- 編集発行 公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター
TEL: 078(918)2405 FAX: 078(919)5186 Eメール: info_midori@hyogopark.com